

医療情報データベースを活用した無顆粒球症に関する薬剤疫学的手法の確立及び実証に関する研究

1. 研究の対象

浜松医科大学病院にて 1996 年 1 月～2017 年 3 月、東京大学病院にて 2009 年 1 月～2014 年 3 月、香川大学病院にて 1996 年 1 月～2014 年 10 月、名古屋市立大学病院にて 2004 年 1 月～2014 年 12 月の間に次の薬剤を処方された患者様。

対象となる薬剤：チアマゾール、チクロピジン、プロピルチオウラシル、サラゾスルファピリジン、メサラジン、クロザピン、クロルプロマジン、ミアンセリン

2. 研究目的・方法

共同研究医療機関（名古屋市立大学病院、浜松医科大学病院、東京大学病院、香川大学病院）の医療情報データベースの匿名化された医療情報を用いて薬剤性無顆粒球症の検出方法を検討します。

本研究にて副作用検出方法を確立することで、医薬品ごとの副作用発症頻度を算出することが可能となり、医薬品間のリスク評価に繋がります。

研究期間：2015 年 3 月 11 日～2022 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：処方内容、病名、検査結果、診療録情報、匿名化 ID 番号、年齢、性別 等

4. 外部への試料・情報の提供

データ解析機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、共同研究期間の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

浜松医科大学付属病院 薬剤部 川上 純一

名古屋市立大学大学院薬学研究科 医薬品安全性評価学分野 頭金 正博

国立医薬品衛生研究所 医薬安全科学部 佐井 君江

東京大学医学部付属病院 企画情報運営部 大江 和彦

香川大学医学部付属病院 医療情報部 横井 英人

名古屋市立大学病院 薬剤部 木村 和哲

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：

名古屋市立大学大学院薬学研究科 医薬品安全性評価学分野 頭金 正博

研究代表者：

浜松医科大学付属病院 薬剤部 堀 雄史